



2018・4・21

第 303 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

3000 万署名達成へ あらゆる創意発揮し

憲法審査会の開会要求を拒否

衆院憲法審査会の与野党幹事らは 19 日、今後の日程について話し合いをしました。会議は当初、幹事懇談会として開かれる予定でしたが、野党側は与党側が麻生財務相の辞任や柳瀬元相秘書官の証人喚問などの要求に応じないことを不服として抵抗したため、急きょ「意見交換」に切り替えておこなわれました。

そこでは与党側は来月 2 日までに審査会を開催し国民投票法改正などを議論するよう提案しましたが、野党側はこれを拒否しました。与党側は 26 日にも審査会を開きたい考えですが不透明です。

お互いの経験に学び合いながら

【神奈川県／九条かながわの会】 九条かながわの会は 3 月 29 日、安倍 9 条改憲ノ一 3000 万人署名を推進するための交流集会を横浜市内で開き、47 人が参加しました。

同会事務局代表の岡田尚弁護士が、「安倍 9 条改憲の狙いと 3000 万人統一署名の意義」と題して報告しました。岡田氏は、「安倍改憲に反対する理由は一つではなく、複

数あってさらに違っていい。目標は一つ、安倍改憲阻止だ」と強調しました。

各地の活動交流が行われました。横浜市戸塚区の戸塚町九条の会の男性は、地域を回るローラー作戦に取り組み、市民に励まされて元気になっている経験を発言。横須賀市民九条の会の女性は、署名の「取り手」を広げ、身近な人に署名を集める意義を話しました。

神奈川 2 区市民連絡会の男性は、署名用紙を印刷した料金受取人払いの返信はがきを作成し、活用している報告をしました。

毎月会議開き到達点を確認しつつ

【鳥取県／安倍改憲を許さない東部会議】 安倍改憲を許さないための東部会議が 4 月 11 日、鳥取市で開かれました。会議は毎月開かれ、9 条の会、憲法改悪反対鳥取県共同センターの参加団体と安保法制に反対する会が参加して署名の集約と経験交流、統一行動の具体化などを話し合っています。

事務局から 4 月 1 日時点での署名の到達が全県で約 1 万 2000 人、うち東都で約 8500

人だと報告されました。参加者は、目標達成には相当の奮闘が必要だが、安倍政権が森友・加計問題などで追いつめられるなか、今こそ 3000 万署名が安倍改憲を阻止するうえでも重要だと話し合いました。

気高 9 条の会の代表は安保法制に反対する気高の会とともに約 540 人分の署名を集めた経緯を紹介。一人ひとりが結びつきをいかして署名を集め、今度は返信用封筒と署名用紙、ビラをセットに配布して、3000 人の目標を達成したいと語りました。

安保法制に反対する末恒の会は地域ローラー作戦に取り組み、約 450 人分を集めたと報告しました。

街頭で広がる多彩な対話

【愛媛県／愛媛 9 条の会】 愛媛 9 条の会は 4 月 9 日、松山市で 3000 万人署名に取り組みました。9 人が宣伝し、専門学校生など青年や高校生らが次々に署名し、30 分で 33 人分の署名が集まりました。

愛媛県教育関係者 9 条の会の田中昭治事務局長は「政府ぐるみで公文書隠ぺい、改ざんし、民主主義の土台を掘り崩し、歴史を偽造する安倍内閣の憲法改悪を、みんなの力で阻止しよう」と呼びかけました。

署名した 18 歳の専門学校生は「このままでは日本は戦争する国になってしまうと。友達とも『9 条が変えられたらいずれ徴兵制もできる』と話している。改憲には反対です」と話しました。

「国民は憲法を変えたいと思わない」

【広島県／女性 9 条の会ひろしま】 女性 9 条の会ひろしまは 9 日、広島市中区の

繁華街で宣伝し、3000 万人署名への協力をよびかけました。10 人が参加し、「安倍改憲発議を止めよう！」と書いたビラを配りました。「頑張ってください」と声をかけてくる女性がいました。

福山市の青山泉さん（62）さんは「戦争はしないと決めた 9 条のおかげで戦後、平和でこられた。憲法を変えるなんて絶対反対」と夫婦で署名しました。廿日市市の女子高校生（16）は別の宣伝の「ヒバクシャ国際署名」にも応じてきたとのべ、「平和が続いてほしいです」と話しました。

信号待ちの間、ビラをじっと読んでいた女性（27）は「多くの国民は憲法を変えたいなんて言っていないですよ」と語りました。

「安倍首相はボロがつぎつぎ」

【岐阜県関市／9 条の会・せき】 9 条の会・せきと戦争法を許さず平和を求める「関市民の会」は毎週土曜日、安倍 9 条改憲に反対する 3000 万人署名に勢いよく取り組んでいます。

冷たい風が吹き荒れた 7 日、善光寺に 7 人が参加して、のぼり旗や横断幕を広げ、参拝客に呼びかけました。

この寺の仏像がラグビーの五郎丸歩選手のポーズに似ていると話題を集めたことから参拝客が急増。この日も親子や友人連れなどの参拝客が足を止め署名に応じました。

刃物工場に働く男性（20）は「安倍首相は自分がやろうとしていることが予定通りや切れずにいら立っているように見える。ボロがどんどんでてるからダメでしょう」と署名しました。

9条の会代表世話人の山田弘さん（82）は、「先週もお花見でにぎわう川や寺でやり168人分の署名が集まりました。年配者から戦争は絶対いかん、安倍は退陣せよの機運が高まっています。次からは町に入って総当りしいきたい」と決意を語りました。

「孫に戦争の体験させたくない」

【札幌市／琴似・山の手両9条の会】 “海外で戦争する国になるのか、憲法を守って平和であり続けるかの瀬戸際です”。札幌市西区の「琴似」と「山の手」両9条の会は4月5日、地下鉄琴似駅前、安倍9条改憲反対3000万人署名を市民によびかけました。

手作りの横断幕「子どもたちに平和を」やプラカード「ヒタヒタと近づく戦争の足音」、「守ろう9条 戦争は人殺し」を掲げ、ビラを手渡しました。

82歳の女性は「終戦は余市でした。防空壕に入ったり出たり。もうあんなこと二度とごめんです」と署名しました。

「もっと安倍政権のひどさを知らないのだめですね」という女性（57）。「4歳になる孫に戦争体験させたくない」と話します。

知り合いに自衛隊員の息子がいて、「親が心配していました」と話す女性や、「安倍さんはだめ。うそいつわりでなく、本当のことを正直に話してもらいたい」と怒る女性もいました。

聴覚障害者が署名用紙を読んで納得してペンを取り、メンバーに握手を求めました。

安倍総辞職求める声明を配布

【東京都江東区／江東市民連合】 江東

市民連合の安倍9条改憲NO！3000万人署名・宣伝行動が4月1日午後、亀戸駅北口、南砂6丁目スーパー前交差点で行われ104人分の署名が寄せられました。

亀戸駅北口は、共同代表の宇都宮健児さんが訴え。宇都宮氏は「森友公文書改ざんは、民主政治の破壊だ。だれの指示で何の目的で行われたのか明らかになっていない」と真相究明の必要性を強調。自民党の9条改憲案は、集団的自衛権を認めさせ、戦争する国づくりがねらいと訴えました。

江東市民連合の声明「森友公文書改ざんし国民を欺いた安倍内閣に総辞職を求めます！」を配布しました。

南砂6丁目スーパー前交差点では、世話人の木底みち子さんらが、保育士の体験から、大切な命を守るために9条を変えてはならないと訴えました。

1軒1軒訪問し、対話を重ね

【新潟県／新潟県9条の会】 新潟県9条の会は3月24日の拡大事務局会議で各地の3000万人署名運動の取り組みを交流しました。「九条の会ニュース」301号で紹介した続報です（「新潟県9条の会」No7291）

郵送での依頼への強い反響に励まされ

《弥彦9条の会》 弥彦は、弥彦神社があり、選挙でも自民党の票が圧倒に多い地域だ。2月の例会を3000万署名のスタート集会として10名ぐらい集まり相談した。独自のチラシ2500枚を新聞に折り込み、新興住宅地の400戸に封書をつけて個別配布、5名の方が署名を送ってくれた。1人は返信用封筒を使わないで募金も入れて送って

くれた。1人はわざわざ家まで訪ねて届けてくれた。

3月17日に訪問活動をおこなった。訪問すると「神社前でスタンディングをやっている人達ですね」と声を掛けてくれる人もある。「弥彦でスタンディング宣伝ができるなんて考えられなかった」「総選挙で自民党の票が過半数を下回った」等、地域の変化に驚きも。

署名目標は、人口8千人、有権者5000人で2500筆をと強く主張している人がいる。署名の到達は500筆。5月3日は地元で集会を予定している。5月2日は2周年記念の音楽会を予定している。

9条の会の会員は発足時60名が、昨年80名、今日、署名を届けてくれた人を訪問し「夫婦で会員に」とお願いしたら「はい、いいです」と加入してもらい現住99名に。

「種まき」「収穫」「落穂ひろい」を念入りに

《湯の町湯沢平和の輪》 1月に新春平和のつどい学習会をおこない、戦争法廃止の運動を上回る幅広い運動を取り組み、5月まで「全町を回りつくす」ことを目標に活動している。

金曜日に署名用紙とカラーチラシとお願い文書をクリアファイルに入れて届ける（種まき）、2日後の日曜日の夕方、約束した時間に署名用紙の回収（収穫）行動。そして持ち寄って集約。日曜日に会えなかったところを月、火に訪問し署名を集める（落穂ひろい）行動の改善を進めながら運動している。署名目標は2000筆で到達は6回の行動で912筆に。

署名は一人ひとりが主権者としての主張

を示す「一筆の重み」がある。3000万人の署名をやりきることが改憲を阻止し、安倍政権を追い詰める大きな力になることを訴えながら活動している。

3000万の大きな流れに合流めざし

【長野県佐久市・ピースアクション望月】

佐久市で毎週日曜日、ピースアクション望月が9条改憲ノー3000万人署名をもって訪問活動をしています。

8日には地域のコミュニティーセンターに9人が集合。地図やチラシ、署名板・用筆を荷台に積んだ事務局の石橋寅雄さんの軽トラで出発です。

訪問先では「憲法を変えるの、お断り」の署名を集めています」と告げると、女性はすぐに「いいですよ」と応じました。この人は通勤の際、佐久平駅近くで毎週スタンディングしているのを見て「気にしていたんです」と述べ、子どもや孫が戦争に巻き込まれるのはごめんだと語りました。署名した高齢男性に、小学生の孫が「おじいちゃんは反対なの」と話しかけ、男性が戦時中のひもじい経験を語る場面も。「出征した主人は…」と体験を懸り署名に応じた高齢女性。「頼まれていた署名は、集めておいたから」と差し出す女性もいました。

昼までの行動で、3000万人署名とヒバクシャ国際署名が88人分ずつ集まりました。

ピースアクション望月は今年2月、もちづき9条の会がよびかけて発足しました。チラシに署名の呼びかけ人29氏の名前を記載。合併前の旧望月町（有権者約8000人）で2000人が署名目標です。毎週日曜日の訪問地域には前日宣伝カーを運行し、「明日、署

名にうかがいます」と案内しています。

これまでに集めた署名は1460人です。石橋さんは「目標まであと4分の1。4月中にやりきりたい。それぞれの地域で『改憲ノー』を示し続けることが、大きな流れに合流し力になる」と語りました

今こそ「九条の会」結成へ

【広島県／保育者9条の会】 「広島県保育者（保育に関わる者）9条の会」が2月18日に発足、神戸女学院大学教授の石川康宏さんが、「平和を守るために私たちができること～私たちは平和憲法を守る！」と題して記念講演した。参加者は92人。

会長には広島大学の名誉教授で県保団連顧問の田村和之さんが就任した。「会」では、県内各地の保育園に9条の会を結成することや、大小さまざまな学習会を組織しながら、3000万署名に取り組むことなどを確認した。3月7日現在で集まっている署名数は406筆、5月の最終集約日に向け、がんばることを誓い合った。（「広島マスコミ九条の会」第74号）

元町議会議長も参加して

【和歌山県東牟婁郡古座川町／古座川9条の会】 2月25日、古座川9条の会結成総会が開催されました。会の発足を発議した餅すみ子さんが経過報告をおこない「全国で9条の会が平和憲法を守る活動をしているのに、何故古座川には9条の会がないのか、何としてもつくりたいとの思いから呼びかけ人を募り、15名の方が気持ちよく引き受けてくれました。今日を機会に「安倍9条改憲NO！」の声をこの古座川から大きくあげようではありませんか」と話さ

れました。

その後、DV「9条改憲って何？」の視聴、結成総会の議事と進み、意見交換と取り組みの交流、当面の活動と申し合わせ事項の確認、役員を選出をおこない、代表委員には元古座川町議会議長・嶋原進さん元玉川大学教授・安部直重さんが選出されました。

3000万人署名については、古座川町に当てはめると700人になり、「安倍9条改憲NO！」の署名700筆を集めようと話し合われました。

（「たなべ通信」NO129）

違憲訴訟提起に向けて学習

【愛知県／違憲訴訟準備会】 全国各地で起されている安民法制違憲訴訟を愛知県でも起そうと4月12日、名古屋市中央区で違憲訴訟準備会が開かれました。主催は安民法制違憲訴訟の会あいち準備会。訴訟に向け100人が参加し、裁判の意義などを学びました。

集会では、憲法学者の飯島滋明名古屋学院大学教授と違憲訴訟よびかけ人の中谷雄二弁護士が講演。

飯島氏は、安民法制違憲訴訟の意義について、「もし日本で安民法制が違憲とされた場合、他国への武力行使が国際法違反の根拠となる可能性がある。私たちの運動が国際平和へ貢献することにもつながる」と強調しました。

中谷氏は、なぜ今違憲訴訟をするのかについて「成立から数年たち、自衛隊の危険な任務の本質が明らかになってきた。今こそ、それを法廷で示すことが必要」と説明。

「住民運動と裁判を有機的にリンクさせることによって盛り上がりや中身の豊かさが変わってくる。ぜひ訴訟に加わってほしい」と訴えました。

参加した南区の中澤和子さん(49)は「私は看護師資格をもっている。今は医療現場にはいないが、いざというとき、医療関係者として戦場に派遣されるかもしれないと考えると安保法制は怖い。今回の違憲訴訟に、何かの形でかかわっていききたい」と話しました。

準備会の集計では、安保法制違憲訴訟は全国各地で24件が起こされ、7200人原告になっています。

心をこめて3000万署名訴え

あつぎ・九条の会 千島 ミツ子

私はご近所廻りや駅頭宣伝のほかに、在職時代の仲間、かつて住んでいたところの友人に、署名への協力依頼の手紙に署名用紙・返信用封筒をそえ、いまのところ約60通送りました。その結果、現在200筆余りがとどけられています。遠くは伊豆大島のご夫妻(元厚木市住人)からのもあります。

病気や高齢のため思うように行動できないからと、カンパや82円切手を沢山くださった人も数人います。日常のつながりの大切さを改めて痛感しています。

多くの人が、戦争は絶対に嫌だ、憲法9条は何としても守りたいと思っていると勇気づけられています。

一人ひとりが出来ることを出来るところでもっともっと署名を広げましょう。

「核兵器廃絶国際署名」も忘れずに！
(「あつぎ・九条の会」No138)

群馬県／桐生・みどり地区女性九条の会 中野 濱子

80歳も半ばを超え、考える事は多々あります。政治に携わる一部の人の墮落は私の心を怒りより絶望に変えていきます。少女期に戦争を体験しやっとなりを手にしての70数年、大切にしてきたものが失われようとしています。

「九条を守ろう」の願いを絵空事だと云う人には冷静に考えていただきたい。

「3000万人署名運動」を貴女はどうしているのかとお尋ねですが、足を使って頑張っている仲間に敬意を表しながら、私は自分にできる事で頑張っています。例をあげると集金に来る人、商品を届けに来る人等、わが家を訪問する人に声をかけます。

玄関に、「憲法九条を守ろう」のポスターや「九条を守る」の手作り団扇を飾っています。それを話題に自分の戦争体験も話し決して強制はしませんが理解してくださるようです。その他、手紙を書いて郵送でお願いすると皆さんから戻ってきます。県外の弟妹や子どもたちにも用紙を送って協力を頼むと、ご近所さんにもお願いしてくれます。

一筆 一筆が増えていきます。

地域の人とのつながりが大切ですね。

体力のなくなった私のささやかな協力です。そして感謝と尊敬！

それによって皆さんが理解してくださるのでしょうか。(「女性九条の会だより9」NO91)